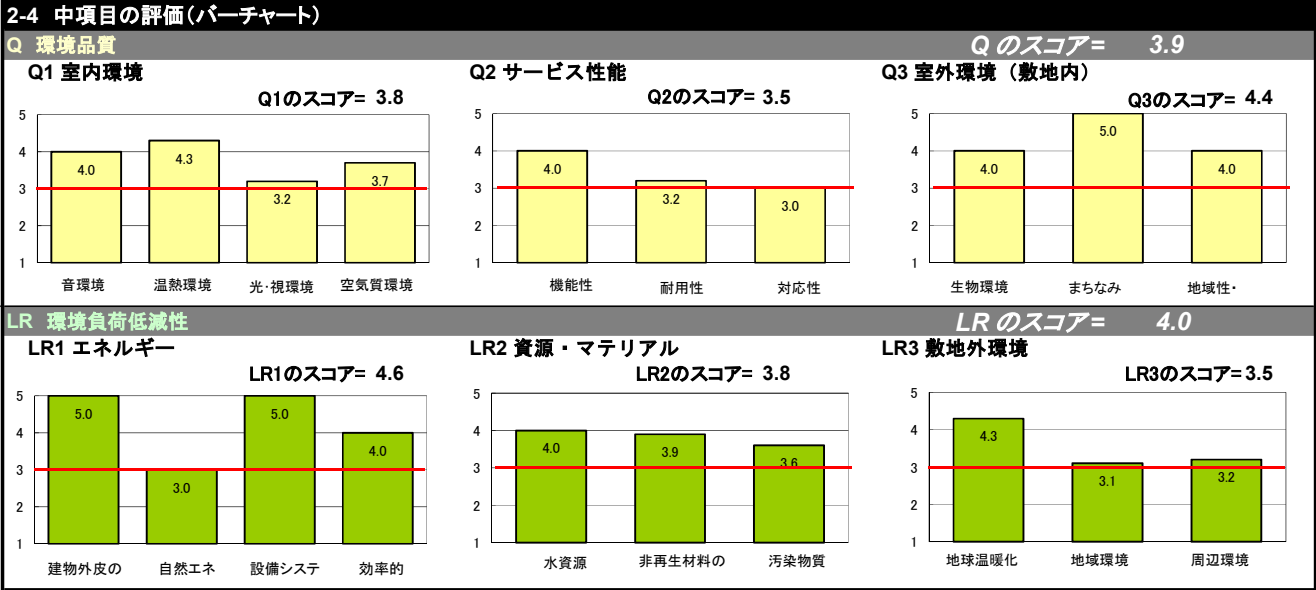
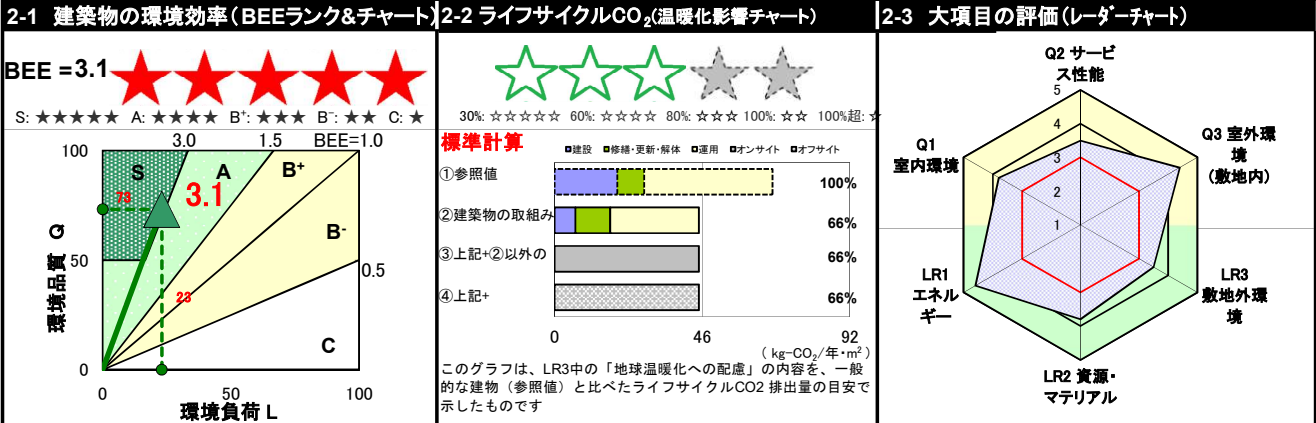


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プライド所沢	階数	地上8F 地下1F
建設地	埼玉県所沢市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年11月11日
敷地面積	11,460 m ²	作成者	西武建設株式会社
建築面積	6,670 m ²	確認日	2024年11月11日
延床面積	28,913 m ²	確認者	西武建設株式会社



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・埼玉県所沢市に新築される大規模レジデンシャルである。 ・断熱性の高い材料の採用と高効率な設備機器の導入、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。 ・所沢の在来種を採用した植栽を各所に散りばめ、緑豊かなランドスケープを創造している。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮音/断熱性能のよいサッシを使用している。 ・ほぼ全般的にF☆☆☆☆の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。 ・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。	・外構や中庭は生態系や生物多様性に配慮したランドスケープをデザインし、「ABINC認証」を取得している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・太陽光設備やLED照明設備など高効率設備により省エネルギー性に配慮し、熱負荷抑制に努めている。	・建物の節水性に配慮し、雨水を再利用している ・リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。	・周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される